

栃木県農業総合研究 センターニュース

No. 9
2026.5

✓ 手をかけ、花が咲き、実りを迎える



一斉田植え



アジサイ「ポップシリーズ」



大麦の実り

田んぼで苗を植える手仕事から、季節を彩る花の開花、そして畑に広がる実りの景色へ。農業の現場には、人の手と自然の力が重なり合う時間が流れています。

当センターでは、こうした現場を支える技術の検証と普及に取り組み、持続可能な農業の実現を目指していきます。

Contents

- [トピックス] あいさつ (P2)
- [研究成果] 水稲の全量基肥栽培における追肥技術 (P3)
水稲品種「とちぎの星」の少肥栽培技術 (P4)
ナシ開花予測の精度向上 (P5)
- [成果速報] にら一年一作栽培技術の確立 (定植時期) (P6)
- [試験紹介] 高温不稔の発生しにくいビール大麦系統の開発 (P7)
育苗期間中の温度がいちごの花芽分化に及ぼす影響 (P7)
単棟ハウスにおける暑熱対策技術の確立 (P8)
紫外光を用いたクビアカツヤカミキリ防除技術の検討 (P8)
- [トピックス] 2026年度第1回気候変動耐性ビール大麦コンソーシアム現地検討会を開催しました (P9)
高山早紀主任、熊倉由樹技師が園芸学会若手優秀発表賞を受賞 (P9)
カメムシ類の早期発見・適期防除を！ (P10)